

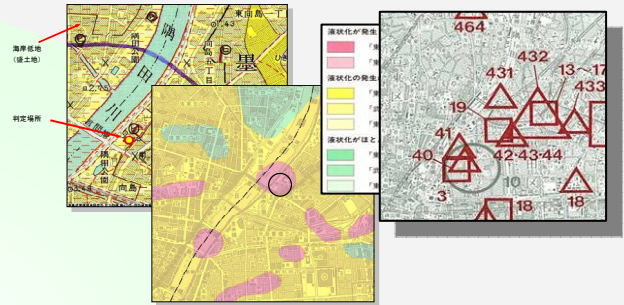
液状化調査

地震時に液状化が起こる可能性は、地盤や地下水状況によります。液状化が起こりやすい場所であるのかどうかを知り、対策を講じることで被害を最低限にとどめることができます。

資料による概略判定から、ボーリング調査を伴う詳細判定など4段階の方法をご用意しています。

商品 1: 資料調査による宅地の概略液状化判定

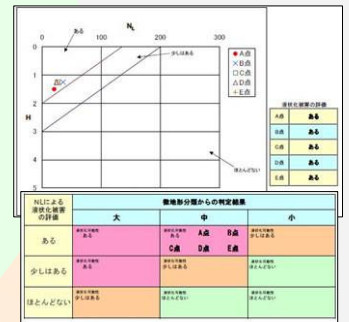
主に、木造2階建て宅地が対象の調査です。地形図、公共団体作成の地域の液状化マップ(ハザードマップ)、液状化履歴図より、概略的に液状化の可能性を判定します。【価格(税抜):10,000円】



商品 2: スウェーデン式サウンディング試験による宅地の液状化診断

主に、木造3階建て程度までの宅地が対象の調査です。スウェーデン式サウンディング試験結果と地下水位を基にした地盤の簡易判定と微地形分類による判定をあわせて行います。

【価格(税抜):スウェーデン式サウンディング料金+6,000円】



商品 3: 土質調査による宅地の液状化診断

主に、木造3階建て程度までの宅地が対象の調査です。上記2(スウェーデン式サウンディング試験による宅地の液状化診断)に加え、土の粒度試験結果を反映させるより精度の高い調査方法です。

【価格(税抜):スウェーデン式サウンディング料金+30,000円】

階	地点	採取深度	土粒子の総重 ρ_s (g/cm ³)	自然含水比 W (%)	粒度 (%)			液状化判定 における 土質区分
					総分	砂分	細砂分	
1	A	1.50 m ~ 1.75 m	2.772	21.5	1.8	84.6	13.6	砂質土
2	A	2.50 m ~ 2.75 m	2.735	30.5	0.2	61.0	38.8	粘性土
3	A	3.50 m ~ 3.75 m	2.709	23.8	0.3	74.3	25.4	砂質土

商品 4: 詳細調査による液状化判定(建築基礎構造設計指針版による)

ボーリング調査および標準貫入試験、土質試験から F_L 値や P_L 値を算出し、各土層ごとの液状化の可能性や地盤全体の液状化の程度を判断します。【価格(税抜):20万円~】